

施策評価調書(1)

評価対象年度 令和4年度

めざす姿	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”
施策名	5 地域資源の活用
施策関係課	(市長室)広報課／(経済部)産業労働政策課・SKIPシティ整備室・産業振興課・グリーンセンター／(教育総務部)文化財課

●施策の基本方針(目標)
<p>本市が持つ多種多様な魅力と誇りを育み、市内外に発信していくことで、多くの交流や活動を生み出し、まちを元気にしていきます。</p>

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅲ-5)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)		現状値	35.0(令和2年度)	指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	32.200	35.300	0.000			
指標②	名称	記者会見・記者懇談会資料提供件数				単位	件
	目標値	40(令和7年度)		現状値	33(令和元年度)	指標の種別	活動
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	23.000	24.000	0.000			
指標③	名称	川口市公式Twitterフォロワー数				単位	人
	目標値	10,000(令和7年度)		現状値	2,365(令和元年度)	指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	5,635.000	6,876.000	0.000			
指標④	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値			現状値		指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度予算額	令和6年度計画額	令和7年度計画額
	事業費	1,517,460	1,446,496	1,300,301	1,963,338	0
	概算人件費	172,627	166,397	164,004	140,620	0
	総事業費	1,690,087	1,612,893	1,464,305	2,103,958	0

*前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 56	単位施策② 52	単位施策③ 56	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			54.7	

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名 ① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施		令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性
事業名称	担当課	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
観光事業	経済部	21,392	12,880	20,279	20,279	0	56	現状維持で実施
	産業振興課	13,904	13,552	13,904	13,904	0		
地域物産館施設管理費	経済部	4,193	5,871	6,498	6,498	0	54	現状維持で実施
	産業振興課	2,686	2,618	2,686	2,686	0		
グリーンセンター再整備事業	経済部	1,246,922	1,063,345	939,860	351,984	0	60	拡充して実施
	グリーンセンター	39,500	38,500	39,500	39,500	0		
シティプロモーション事業	市長室	35,406	34,444	75,859	0	0	56	拡充して実施
	広報課	11,455	11,165	11,455	0	0		
その他広報事業	市長室	10,901	11,006	13,135	0	0	56	現状維持で実施
	広報課	5,135	5,005	5,135	0	0		

単位施策名 ② 歴史的資源の保護と活用		令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性
事業名称	担当課	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
歴史自然資料館施設運営費	教育総務部	18,429	17,745	17,885	17,885	0	54	現状維持で実施
	文化財課	1,738	1,463	1,343	1,343	0		
赤山城跡保存整備事業	教育総務部	20,807	42,432	17,636	17,636	0	54	現状維持で実施
	文化財課	3,950	3,850	3,950	3,950	0		
史跡等管理事業	教育総務部	77,122	26,687	22,591	22,591	0	48	現状維持で実施
	文化財課	3,950	3,850	3,950	3,950	0		
遺跡発掘調査事業	教育総務部	7,876	8,367	11,170	11,170	0	56	現状維持で実施
	文化財課	26,860	23,100	21,330	21,330	0		
民俗文化財等調査事業	教育総務部	6,869	6,123	7,067	7,067	0	42	現状維持で実施
	文化財課	13,430	13,090	13,430	13,430	0		
文化財センター施設運営費	教育総務部	1,718	1,619	1,844	0	0	48	現状維持で実施
	文化財課	4,266	2,926	2,054	0	0		
歴史的建造物施設運営費	教育総務部	8,612	8,724	—	—	—	56	他事業に統合されて実施
	文化財課	3,476	5,005	—	—	—		
郷土資料館施設運営費	教育総務部	6,296	6,238	6,597	6,597	0	56	現状維持で実施
	文化財課	8,927	11,011	10,902	10,902	0		
その他文化財保護費	教育総務部	3,322	975	1,050	1,050	0	56	現状維持で実施
	文化財課	3,160	3,080	3,160	3,160	0		
古文書資料収集保管事業	教育総務部	277	281	1,734	0	0	50	現状維持で実施
	文化財課	6,590	1,848	1,106	0	0		
古文書解説事業	教育総務部	2,154	2,973	3,062	0	0	54	現状維持で実施
	文化財課	1,954	924	3,634	0	0		

単位施策名		③ SKIPシティを活用した地域の活性化						
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (予算額)	令和6年度 事業費 (計画額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和4年度の 総評価	令和5年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
NHK跡地整備事業	経済部	27,814	157,055	124,303	1,470,850	0	56	現状維持で実施
	SKIPシティ整備室	17,775	17,325	18,960	18,960	0		
映像関連普及事業	経済部	0	4,731	4,731	4,731	0	56	現状維持で実施
	産業労働政策課	0	2,310	2,370	2,370	0		
映画祭関連事業	経済部	17,350	35,000	25,000	25,000	0	56	現状維持で実施
	産業労働政策課	3,871	5,775	5,135	5,135	0		

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	観光事業			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施		
根拠法令等	地域資源活用事業補助金交付要綱、川口まちなか観光案内所事業実施要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市外からの観光客及び市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市に特徴のある様々な地域資源(観光資源)を活用した観光振興に取り組むことで、魅力ある訪れたいまち、選ばれるまちの実現を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 観光PR促進事業 地域資源を活用した事業への団体補助金 歴史的財産である日光御成道のPR まちなか観光案内所事業 	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> 観光ルートマップ総合版、各ルート等の配架施設を追加した。 地域資源を活用した事業に対し、助成を行った。 イナパーク川口の紹介動画を制作した。 観光PRポスターを作成した。 FM川口で地域資源や開催イベントなどを紹介した。 	市内の観光地点をウォーキングルートとして結ぶ11種のマップを各所へ配架し、映像作品「ロード・オブ・ONARI～未来へつなぐ想い～」の配信を継続、地域資源の広報活動などで市内外へ本市の魅力をPRできた。結果として市内施設への観光入込客数(1～12月計測)がおおよそ15万人増加した。(前年比110パーセント)	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域資源活用事業補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	地域資源を活用した事業を行う地域団体への助成。				
	単位	件	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	7.00		7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	7.00	
	実績値・達成状況	1.00	未達成	6.00	未達成	6.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7款	1項	2目	4細目	1細々目	観光事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	7,158	24,511		18,943		20,279		20,279		
決算額(B)=(C)+(D)	3,891	21,392		12,880						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	3,891		21,392		12,880		20,279		
概算人件費(E)	13,904		13,904		13,552		13,904		13,904	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.76	0.00	1.76	0.00	1.76	0.00	1.76	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	17,795		35,296		26,432		34,183		34,183	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	観光物産協会、商工団体、緑化団体、商店街等と協力・連携し、地域資源を活用する事業を展開する必要がある。発展した事業を展開するため、情報共有・収集に努め、連携した事業展開を目指す。更には新たな生活様式に沿ったイベント等の企画を策定していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	地域物産館施設管理費			担当	経済部 産業振興課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	259-9018	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	29	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施					
根拠法令等	赤山歴史自然公園内地域物産館貸出要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	イイナパーク川口の賑わいの拠点として、地場産農産物の販売などを行い、地域の振興を図る。	地域物産館を集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸し出すことにより、市内外から訪れる利用者の憩いの場所となることで、地域コミュニケーションの活性化に繋げる。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果[定性的評価]	
	地域物産館のPRに繋げるため、集客性の高いイベントやワークショップを開催する使用者に貸出した。	地域コミュニケーションの活性化に繋がった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域物産館貸出日数			指標・目標値の説明(算定式)	地域物産館(こもれびラウンジ・こもれびホール・グリーンマーケット)における貸出日数					
	単位	日	指標の種別	結果							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	43.20		43.20		85.00		85.00		85.00	
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	実績値・達成状況	5.00 未達成		85.00 達成		107.00 達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	6 細目	1 細々目	地域物産館施設管理費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	5,238	4,665		6,247		6,498		6,498		
決算額(B)=(C)+(D)	4,220	4,193		5,871						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	4,220		4,193		5,871		6,498		
概算人件費(E)	2,686		2,686		2,618		2,686		2,686	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00	0.34	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,220		6,879		8,489		9,184		9,184	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	川口ハイウェイオアシス開業に伴い、イイナパーク川口への人流増加がある中、今まで以上に地域物産館が賑わうための方策が必要である。そこで、指定管理者制度の導入を検討しており、スムーズに運営が始められるように準備を進める必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	グリーンセンター再整備事業			担当	経済部 グリーンセンター	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	281-2319	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	施設の老朽化や市民の利用ニーズ、社会状況の変化等に対応した施設の再編を図る。	活性化基本計画に基づく園内の施設再編やインフラの再整備。防災拠点の機能強化となるオープンスペースの拡充や防災関連施設の導入等。収益や集客の向上を目的とした管理運営形態の構築。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	第1期及び第2期整備事業に係る基本・実施設計や地質調査、用地測量等の委託業務。第1期整備事業となる植栽工、施設整備工等。	第1期整備事業については、園内でも運営に支障が出ているエリアであり、早期に安全性の確保が必要のため、工期短縮を図りつつ、効率的で合理的な設計・施工の実施を行い、令和3年度に第1期整備事業は完了した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	6款	1項	5目	2細目	3細々目	グリーンセンター再整備事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	882,864	1,947,753		1,126,585		939,860		351,984		
決算額(B)=(C)+(D)	432,421	1,246,922		1,063,345						
財源※	特定財源(C)	308,000	778,986		487,320		559,905			
	一般財源(D)	124,421	467,936		576,025		379,955			
概算人件費(E)	39,500	39,500		38,500		39,500		39,500		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	471,921	1,286,422		1,101,845		979,360		391,484		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待以上	15 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
60 /60	グリーンセンターの再整備については、計画上の概算事業費として100～150億円規模の予算が必要となるため、国道交通省以外の補助金メニューの活用や財政状況による事業工程の見直し及び事業費の平準化等が必要となる。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	シティプロモーション事業			担当	市長室 広報課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7628	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	28	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民及び市外在住者	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	本市の魅力を生かすことにより、市民の地域愛の醸成や定住促進を図る他、一人でも多くの若者世代や子育て世代、そして本市の伝統であるものづくり産業の担い手、創業者・起業家等を市外から本市により多く呼び込むこと。	・誘客情報サイト「1110city.com」を基盤とした情報発信・川口市マスコット「きゅぼらん」を活用したPR活動・川口市公式Twitter・定住促進冊子を活用した本市知名度の向上・市内外の広告ビジョン、鉄道車両内のモニターを用いた本市PR動画の放映・イルミネーション「かわぐち光のファンタジー」(H29～)の実施など	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・交通広告(トレンチャンネル2/20～2/26、埼玉高速鉄道4/1～)で本市PR動画を放映・川口駅周辺などにイルミネーションを設置(12/2～2/14)	広告などのメディア露出や、SNSの更新頻度を増やすことにより、本市の知名度向上が図られ、川口市公式Twitterフォロワー数の目標数値を達成することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	川口市公式Twitterフォロワー数			指標・目標値の説明(算定式)	川口市公式Twitterフォロワー数(令和7年度末目標値…10,000人 年間増加目標値…1,240人)				
	単位	人	指標の種別	成果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	3,913.00		達成		5,774.00		達成		6,679.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2款	1項	10目	2細目	4細々目	シティプロモーション事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	41,503	36,131		34,675		75,859		0		
決算額(B)=(C)+(D)	40,751	35,406		34,444						
財源※	特定財源(C)	2,430		2,829		0		2,507		
	一般財源(D)	38,321		32,577		34,444		73,352		
概算人件費(E)	11,455		11,455		11,165		11,455		0	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.45	0.00	1.45	0.00	1.45	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	52,206		46,861		45,609		87,314		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	日本全体の人口減少傾向をみても、早晩ピークアウトを迎えるという危機感を持ち、数多いプロモーションの中で埋もれないようなPR方法を模索する必要がある。川口市が本来持っている多くの魅力を継続して発信するよう、従来の事業内容に加え、新たな魅力発信のための地域情報ウェブサイトを構築する。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	その他広報事業			担当	市長室 広報課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7628	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-① 地域資源を活用したシティプロモーションの実施		
根拠法令等			

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	川口市掲示板等を利用し、行政情報を提供するもの。	市内に約1,000基ある掲示板の維持管理及び市発行ポスターの貼付	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	毎月1～15日、16日～月末の2回を期間に市発行ポスター等を貼付した。また、町会からの要望で随時、掲示板の新設・移設・修繕等を行った。	掲示板は市内の人目に付きやすい場所に設置しており、広報効果は極めて高い。市内外に各種市政情報を提供することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位	指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	2款	1項	10目	2細目	5細々目	その他広報事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	10,879	11,082		11,128		13,135		0		
決算額(B)=(C)+(D)	10,828	10,901		11,006						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	10,828		10,901		11,006		13,135		
概算人件費(E)	5,135		5,135		5,005		5,135		0	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.65	0.00	0.65	0.00	0.65	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	15,963		16,036		16,011		18,270		0	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	屋外に設置しているため、風雨による破損やいたずら等のリスクを内包している。しかしながら、市内各所での情報提供ツールとして不可欠なことから、引き続き事業を実施する。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	歴史自然資料館施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用		
根拠法令等	川口市立文化財センター設置及び管理条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	歴史自然資料館	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	歴史自然資料館の運営を通じて、市民に郷土の歴史・文化への理解を深めてもらうとともに、郷土愛の醸成の一助とする。	歴史自然資料館を運営(映像ギャラリー・展示室の一般公開、文化団体への貸出し、企画展やワークショップを開催する)。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・映像ギャラリーと展示室等における常設展示を公開した。 ・企画展1回、ワークショップ9回、文化イベント1回、郷土資料館企画展の関連イベント1回を実施した。	市民に郷土の歴史・文化への理解を深めてもらうとともに、郷土愛の醸成に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	歴史自然資料館の来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出					
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
	実績値・達成状況	50,000.00	50,000.00	50,000.00	65,000.00	0.00					
	実績値・達成状況	39,320.00	未達成	34,347.00	未達成	65,369.00	達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度					
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	9 細目	1 細々目	歴史自然資料館施設運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度			
予算額(A)	21,627	18,561		17,908		17,885	17,885			
決算額(B)=(C)+(D)	20,851	18,429		17,745						
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0			
	一般財源(D)	20,851		17,745		17,885				
概算人件費(E)	3,160		1,738		1,463	1,343		1,343		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.22	0.00	0.19	0.00	0.17	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	24,011		20,167		19,208	19,228		19,228		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	展示やイベント等の充実を図るとともに、旧跡赤山城跡への見学にもつながる魅力ある運営を実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	赤山城跡保存整備事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	赤山城跡	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	県の旧跡で本市の重要な歴史遺産である「赤山城跡」の公有地化整備を行うもの。	「赤山城跡」の保存整備をはかるため、売却要望のある土地の購入を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	県指定旧跡赤山城跡の保存整備用地の購入を行った。	堀や遊歩道に面する用地の一部を購入し、史跡の保存を図るとともに、その活用につながるから、赤山城跡に対する市民意識の向上につながった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公有地化			指標・目標値の説明(算定式)	旧跡の公有地化				
	単位	m ²	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況	2,234.56	1,566.00	1,567.94	485.00	0.00				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	2 細目	2 細々目	赤山城跡保存整備事業				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度			
予算額(A)	74,310	21,008		48,178		17,636		17,636			
決算額(B)=(C)+(D)	59,440	20,807		42,432							
財源※	特定財源(C)	0		38,100		15,800					
	一般財源(D)	59,440		4,332		1,836					
概算人件費(E)	3,950		3,950		3,850		3,950		3,950		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	63,390		24,757		46,282		21,586		21,586		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	保存整備対象地が128,502m ² と広大で、買収に長い年月を要するため、史跡の有効的な活用を検討した購入を行っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	史跡等管理事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用		
根拠法令等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・木曾呂の富士塚 ・赤山城跡	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	国指定重要有形民俗文化財である「木曾呂の富士塚」及び県の旧跡である「赤山城跡」の保存管理等を行うもの。	「木曾呂の富士塚」と「赤山城跡」保存整備事業区域内における樹木管理、用地施設の修理、土地の借上げ等を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・木曾呂の富士塚・赤山城跡の樹木等の管理を行った。 ・木曾呂の富士塚・赤山城跡の修繕を行った。	用地借り上げ、樹木管理、修繕、改修工事を行うことにより、本市の貴重な文化財である木曾呂の富士塚と赤山城跡の保護を図ることができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	樹木管理面積			指標・目標値の説明(算定式)	国指定重要有形民俗文化財と県指定旧跡の保存管理面積				
	単位	m ²	指標の種別	結果		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値	30,000.00		30,000.00	30,000.00	30,000.00	0.00			
	実績値・達成状況	35,255.63	達成	35,581.44	達成	36,342.33	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標値									
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	2 細目	1 細々目	史跡等管理事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	35,259	83,830		27,301		22,591		22,591		
決算額(B)=(C)+(D)	33,568	77,122		26,687						
財源※	特定財源(C)	0	37,600		0		0			
	一般財源(D)	33,568	39,522		26,687		22,591			
概算人件費(E)	3,950	3,950		3,850		3,950		3,950		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	37,518	81,072		30,537		26,541		26,541		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	史跡の管理面積が広大で、年々市有地が増加傾向にあり、箇所に応じた樹木等の適切な管理が必要である。民間活用による工夫した管理を検討していく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	遺跡発掘調査事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用		
根拠法令等	文化財保護法、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助要項、文化財保存事業費関係補助金交付要綱		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	埋蔵文化財	発掘調査を伴う個人住宅を建設する市民、及び各種開発に伴い埋蔵文化財範囲確認調査を必要とする市民・事業者等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	各種開発事業に伴う、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や埋蔵文化財の記録保存を図るもの。	各種開発事業に伴い、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地を確認するための範囲確認調査や記録保存のための遺跡の発掘調査を実施する。また、発掘調査により出土した遺物等の整理作業を行うとともに記録にまとめ、報告書を刊行する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	個人住宅建設に伴う発掘調査1件、範囲確認調査24件、及び埋蔵文化財の記録保存が図れた。令和3年度実施調査の整理作業と報告書を刊行した。なお、上記の件数は文化財課予算で実施した調査件数であり、他にも開発原因者負担による調査(発掘3件、報告書刊行2件)を実施している。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	範囲確認調査の件数			指標・目標値の説明(算定式)	開発行為に伴い実施するものであり、目標値を事前に設定できない。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし
	実績値・達成状況	22.00	-	22.00	-	22.00	-			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	3 細目	1 細々目	遺跡発掘調査事業					
年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度			
予算額(A)	9,317	10,683			9,490		11,170		11,170			
決算額(B)=(C)+(D)	7,668	7,876			8,367							
財源※	特定財源(C)	3,150	3,150			3,150		3,150				
	一般財源(D)	4,518	4,726			5,217		8,020				
概算人件費(E)	21,330	26,860			23,100		21,330		21,330			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	2.70	0.00	3.40	0.00	3.00	0.00	2.70	0.00	2.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	28,998	34,736			31,467		32,500		32,500			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	今後も、必要に応じて効果的な発掘調査を実施していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	民俗文化財等調査事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	3	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用					
根拠法令等	文化財保護法、川口市文化財保護条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営		
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)			受益者(最終的に受益を受ける人)		
	文化財資料			市民等		
事業の概要	事業の目的(何のために)			事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)		
	市内に所在する民俗文化財や铸件関係資料等の文化財資料を調査し保護することを目的としている。			民俗文化財資料等について現地調査・記録を行い、収集した資料については、洗浄・メンテナンス、調査を行い、台帳に整理し、収蔵・保管する。また、文化財の現況や指定候補文化財の調査を実施する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)			事業の成果【定性的評価】		
	<ul style="list-style-type: none"> 民俗文化財の調査・収集・整理を行った。 資料の洗浄・補修・計測・写真記録・リストの作成を行った。 資料図面の作成を行った。 所蔵資料の管理を行った。 指定文化財及び指定候補文化財の調査を行った。 			市内に所在する文化財の調査・記録し、また収集した民俗文化財を調査・整理・記録・保管し、報告・活用することにより、市民の文化財愛護精神と郷土愛の醸成につながった。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	民俗資料整理点数			指標・目標値の説明(算定式)	民俗資料整理点数				
	単位	点	指標の種別	活動						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	3,206.00		達成		3,357.00		達成		963.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	3 細目	2 細々目	民俗文化財等調査事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	7,336	7,746		6,991		7,067		7,067		
決算額(B)=(C)+(D)	6,362	6,869		6,123						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	6,362		6,869		6,123		7,067		
概算人件費(E)	14,170		13,430		13,090		13,430		13,430	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.70	0.20	1.70	0.00	1.70	0.00	1.70	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	20,532		20,299		19,213		20,497		20,497	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	7 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
42 /60	調査員・調査補助員と連携した文化財調査及び民俗文化財資料の寄贈・収集に伴う調査・記録事業である。これらの文化財や資料は、本市の歴史や地域的特色を示すものであり、このうち重要なものについては、指定候補文化財として専門的な調査を実施したり、展示資料として活用していく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	文化財センター施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用				
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	文化財センター	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市内に所蔵する資料を文化財センターに収集・保管し、展示・活用する施設として運営するもの。	文化財資料の整理作業を実施し、活用・収蔵を行う。また市民に文化財の大切さを周知するために、文化財に関する常設展示のほか、企画展を開催する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	文化財資料の展示・収蔵を行った。	文化財資料の整理・保管・常設展示を行い、市民の文化財愛護精神を養う一助とした。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	文化財センター来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	4,000.00		4,000.00		4,000.00		4,000.00		0.00
	実績値・達成状況	1,161.00	未達成	1,493.00	未達成	1,200.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	4 細目	1 細々目	文化財センター施設運営費					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
予算額(A)	1,949	1,929		1,812		1,844		0				
決算額(B)=(C)+(D)	1,732	1,718		1,619								
財源※	特定財源(C)	147		186		169		179				
	一般財源(D)	1,585		1,532		1,450		1,665				
概算人件費(E)	12,640		4,266		2,926		2,054		0			
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.60	0.00	0.54	0.00	0.38	0.00	0.26	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	14,372		5,984		4,545		3,898		0			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
48 /60	新型コロナウイルス感染拡大防止措置を講じた上で、事業内容を充実させて来館者の増加に努める。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	歴史的建造物施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 18 年度 ~ 令和 4 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	重要文化財「旧田中家住宅」	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	重要文化財「旧田中家住宅」の保存・活用を行うもの。	大正期に建設された「旧田中家住宅」の文化財としての魅力を多くの人に感じてもらうための活動事業や、また、文化財を保存するため活動しているボランティア「魅がきたい」への支援などを行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	<ul style="list-style-type: none"> 一般公開及び茶室等の貸出を行った。 主催イベントを2回実施した。(端午の節供、桃の節供) 共催イベントを1回実施した。(文化イベント「時の聲」) ボランティア「魅がきたい」の活動支援を行った。 	重要文化財「旧田中家住宅」を広くPRし、市民の文化財愛護精神の向上に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	旧田中家住宅来館者数			指標・目標値の 説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	3,115.00 未達成		3,683.00 未達成		4,041.00 未達成				
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	5 細目	1 細々目	歴史的建造物施設運営費				
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度				
予算額(A)	9,125	8,968		8,900		0	0				
決算額(B)=(C)+(D)	8,754	8,612		8,724							
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0				
	一般財源(D)	8,754		8,612		8,724	0				
概算人件費(E)	5,530		3,476		5,005		0		0		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.44	0.00	0.65	0.00	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	14,284		12,088		13,729		0		0		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	令和5年度から指定管理者制度を導入し、民間事業者の能力を活かして、重要文化財としての魅力ある活用を図る。	翌年度	他事業に統合されて実施
		翌々年度	-

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	郷土資料館施設運営費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 23 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	文化財保護法、川口市立文化財センター設置及び管理条例

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	郷土資料館	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民に郷土の歴史・民俗・文化についての理解、文化財愛護の精神を深めてもらうとともに、収蔵資料を後世に伝えるもの。	文化財資料の展示・学習会・収蔵を行う施設として郷土資料館を運営する。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・企画展を2回実施(「赤山陣屋跡遺跡-「トチの実加工場」は存在したか?」、「小谷三志」) ・講座を1回実施(歴史講座「川口の偉人 小谷三志の生涯」) ・小・中学校を対象に、収蔵資料等を活用した歴史教室・社会科見学を延べ240校に実施	市民に郷土川口の歴史・民俗・文化についての理解を深めてもらうとともに、文化財愛護精神の高揚に寄与できた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	郷土資料館来館者数			指標・目標値の説明(算定式)	過去の来館者数の推移を基に算出				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	3,455.00 未達成		4,627.00 達成		3,467.00 未達成				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	7 細目	1 細々目	郷土資料館施設運営費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	6,592	6,875		6,785		6,597		6,597		
決算額(B)=(C)+(D)	6,250	6,296		6,238						
財源※	特定財源(C)	1,056		1,278		1,437		1,200		
	一般財源(D)	5,194		5,018		4,801		5,397		
概算人件費(E)	15,010		8,927		11,011		10,902		10,902	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.90	0.00	1.13	0.00	1.43	0.00	1.38	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,260		15,223		17,249		17,499		17,499	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 /60	需要の高いオンライン事業を積極的に実施するとともに、常設展示や企画展等の充実を図ることにより来館者の増加に努める。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	その他文化財保護費			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 元 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用
根拠法令等	川口市文化財保護条例、川口市管理維持費交付要綱、川口市文化財保存事業費交付要綱

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	指定文化財所有者、保持団体	市民等	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	指定文化財を維持管理・修理・活用するための費用の補助金の交付を行うもの。	指定文化財管理維持費、無形民俗文化財保存継承費、文化財保存事業費補助金の交付を行う。また、各協議会負担金の交付を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・指定文化財補助金(指定文化財管理維持費補助金、無形民俗文化財保存継承費補助金、文化財保存事業費補助金)の交付事業を行った。 ・川口市郷土史会への交付金、県文化財保護協会・県博物館連絡協議会への負担金を交付した。	指定文化財所有者・保持団体に補助金を交付したことにより、指定文化財が保護された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	指定文化財補助金交付件数			指標・目標値の説明(算定式)	文化財所有者の申請に応じて実施するものであり、目標値を事前に設定出来ない。				
	単位	件	指標の種別	活動						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	30.00		31.00		29.00				
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	8 細目	1 細々目	その他文化財保護費			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	1,347	3,715		1,050		1,050		1,050		
決算額(B)=(C)+(D)	967	3,322		975						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	967		3,322		975		1,050		1,050
概算人件費(E)	3,160		3,160		3,080		3,160		3,160	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,127		6,482		4,055		4,210		4,210	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	指定文化財を次世代へ継承していくうえでの課題を把握し、適切な補助金の交付と文化財保護支援を検討していきたい。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和4年度

事業名称	古文書資料収集保管事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-283-3552	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切にしたい“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用		
根拠法令等	文化財保護法、川口市文化財保護条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	本市に残された古文書等の文献資料	市民及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか)	
	本市の歴史を解明する上で不可欠な古文書等文献資料を調査・収集し、収集した資料を最適な形で後世に伝えと共に、資料の活用を図る。	本市に残された古文書の調査・収集・整理・保存。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・本市に残された古文書等文献資料を調査・収集し、保存処理・分類・整理・保管した。 ・県地域史料保存活用連絡協議会に参加した。	本市に残された古文書等文献資料を、新たに2件、208点調査・収集し、データ処理を行った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書等文献資料の収集件数			指標・目標値の説明(算定式)	所有者からの調査依頼等によって適宜行われるものであり、目標値を事前に設定できない					
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況	6.00	-	2.00		-	2.00	-			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別								
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	10 細目	1 細々目	古文書資料収集保管事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度					
予算額(A)	1,631	278		282		1,734	0					
決算額(B)=(C)+(D)	1,411	277		281								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	1,411		277		281	1,734	0				
概算人件費(E)	6,590		6,590		1,848		1,106	0				
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.60	0.50	0.60	0.50	0.24	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,001		6,867		2,129		2,840	0				

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	9 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	不明	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
50 /60	古文書等の文献資料を調査・収集し、本市の歴史を明らかにする貴重な歴史資料をより良い形で後世に伝えるための事業である。保管した古文書等は整理を継続的に実施し、展示活用等による公開を図ることで、本市の歴史的事象・人物の顕彰に役立て市民の郷土愛育成に寄与する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	古文書解読事業			担当	教育総務部 文化財課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	222-1061	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-② 歴史的資源の保護と活用		
根拠法令等	川口市文化財保護条例		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	本市に残された古文書等の資料	市民及び本市の歴史に関心をもつ市外在住者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	本市に残された古文書資料を解読し、後世に記録として残すほか、それを活用した事業を実施し、市民及び本市の歴史に関心をもつ人に広く公開するため。	専門家に依頼しての古文書解読・古文書講座の実施。解読した古文書を史料叢書として図書刊行を行う。	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・古文書資料の解読を推進した。 ・古文書講座を2回(初級講座、中級講座)実施した。	古文書講座参加者に、本市に残された古文書資料の重要性について広く周知することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	古文書講座の参加者数			指標・目標値の 説明(算定式)	開催要項において設定した募集人数				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	10.00	達成	71.00	未達成	82.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	10 款	6 項	8 目	10 細目	2 細々目	古文書解読事業					
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度					
予算額(A)	3,074	2,186		3,029		3,062	0					
決算額(B)=(C)+(D)	2,836	2,154		2,973								
財源※	特定財源(C)	0		0		0	0					
	一般財源(D)	2,836	2,154		2,973		3,062					
概算人件費(E)	4,220	1,954		924		3,634	0					
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.50	0.06	0.40	0.12	0.00	0.46	0.00	0.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,056	4,108		3,897		6,696	0					

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 /60	世代交代により古文書資料解読の技能を有する人が減少しており、人材の確保と育成が課題である。古文書資料から解読できる歴史を後世に残すためにも、本事業の必要性と有効性は高いことから、事業内容を検討していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	NHK跡地整備事業				担当	経済部 SKIPシティ整備室	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-258-1152	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成 11 年度 ~ 年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化
根拠法令等	さいたま新産業拠点整備計画、さいたま新産業拠点(SKIPシティ)B街区利用計画、SKIPシティ利活用基本計画

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの) ・SKIPシティB・C街区 ・旧早稲田大学川口芸術学校校舎(SKIPシティA2街区6階)	受益者(最終的に受益を受ける人) ・市民 ・市内事業者、中小企業 ・SKIPシティワーカー	
事業の概要	事業の目的(何のために) 映像関連産業と事業者支援機能が集まる賑わいのあるまちの形成	事業の内容(事業期間を通して何をやるのか) ・市が所有するB街区とNHKが所有するC街区及びB街区西側隣地の一部を交換すること。 ・C1街区(西側)に産業支援施設を整備すること。 ・C2街区(東側)に商業施設(物販・飲食)を整備すること。 ・A2街区の旧早稲田大学川口芸術学校の活用を図ること。 ・SKIPシティと各駅を結ぶ交通ネットワークを見直し整備する	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか) ・B街区とC街区及びB街区西側隣地の一部を交換 ・C1街区に整備予定の産業振興施設の基本設計 ・C2街区に商業施設の整備を担う優先交渉権者の選定 ・SKIPシティB・C街区の維持管理 ・旧早稲田大学川口芸術学校校舎の寄贈受け入れに係る事務及び受け入れ後の維持管理	事業の成果【定性的評価】 NHK跡地整備事業の完成に向け、事業が進捗した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ利活用検討委員会の開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	B・C街区の利活用について検討する委員会の開催日数(令和3年度で終了)				
	単位	回	指標の種別	活動						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	5.00 達成		3.00 達成		0.00 ー				
指標②	名称	SKIPシティC街区における施設整備進捗状況			指標・目標値の説明(算定式)	SKIPシティC街区における施設整備完了までの割合				
	単位	%	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	0.00		0.00 ー		20.00 達成		40.00		60.00

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7 款	1 項	2 目	7 細目	2 細々目	NHK跡地整備事業			
年度	令和2年度	令和3年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度	
予算額(A)	3,753,238	34,806			167,136		124,303		1,470,850	
決算額(B)=(C)+(D)	3,752,978	27,814			157,055					
財源※	特定財源(C)	0			5,100		24,000			
	一般財源(D)	3,752,978			151,955		100,303			
概算人件費(E)	8,216		17,775		17,325		18,960		18,960	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.04	0.00	2.25	0.00	2.25	0.00	2.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,761,194		45,589		174,380		143,263		1,489,810	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
56 /60	<ul style="list-style-type: none"> C1街区施設建設に向けて実施設計を進めること。 C街区2活用に向けて優先交渉権者と定期借地権設定契約を締結すること。 A2街区の旧早稲田大学川口芸術学校校舎の活用を図る。 				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	映像関連普及事業			担当	経済部 産業労働政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1619	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	14	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	全部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・川口市内の小学生(CG制作) ・川口市内小学5・6年生(映画制作)	同左	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・映像産業を核とした次世代産業導入・集積のための人材育成に寄与する ・製作作品を市民に紹介し、映像関連事業の普及・啓発	・小学生がCG制作を体験 ・小学5・6年生による15分程度の短編映画制作	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・市内小学生がCGアニメーションを制作 ・市内小学5・6年生が、演出、主演、撮影、編集等全てを担当し、映画を制作	川口市内の小学生がCG教室や短編映画制作を通して、次世代産業への理解・興味・関心が向上した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	CG教室参加希望者			指標・目標値の説明(算定式)	定員に対して、参加希望者が上回る人数				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況	0.00	0.00	854.00	達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7款	1項	2目	2細目	4細々目	映像関連普及事業				
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度						
予算額(A)	0	0	4,731	4,731	4,731						
決算額(B)=(C)+(D)	0	0	4,731								
財源※	特定財源(C)	0	0	0	0						
	一般財源(D)	0	0	4,731	4,731						
概算人件費(E)	0	0	2,310	2,370	2,370						
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	0	0	7,041	7,101	7,101						

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性
56 /60	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度と3年度は本事業が中止となった経緯があり、令和4年度は感染症対策を講じた上での開催となった。今後も新型コロナウイルスの感染状況に応じて、参加者の健康と安全の確保に努めながら、感染症対策を検討した上で開催していく必要がある。	翌年度 現状維持で実施 翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和4年度

事業名称	映画祭関連事業			担当	経済部 産業労働政策課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-258-1619	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	Ⅲ 産業や歴史を大切に“地域の魅力と誇りを育むまち”-5 地域資源の活用-③ SKIPシティを活用した地域の活性化				
根拠法令等	SKIPシティ国際映画祭開催基本方針				

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)	受益者(最終的に受益を受ける人)	
	・映像クリエイター ・映像関連産業関係者 ・映画祭視聴者	・映像クリエイター ・映像関連産業関係者 ・映画祭視聴者	
事業の概要	事業の目的(何のために)	事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	・「デジタルシネマ」の裾野を広げ、新しいクリエイターを発掘する ・将来本市の産業の核となる映像関連産業の育成に役立てていく	・世界中から募集したデジタルシネマの中から、優秀作品を顕彰する	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)	事業の成果【定性的評価】	
	・映画祭実行委員会例会の開催(月1回) ・スクリーン上映とオンライン配信の2つの方式で開催 ・7月16日(土)～7月24日(日)スクリーン上映 ・7月21日(木)～7月27日(水)オンライン配信 ・映画祭20周年、川口市制施行90周年を記念し、埼玉県と共同で映画を製作	3年ぶりにスクリーン上映を復活させるとともに、オンライン配信も併せて行うハイブリッド開催を実現させた。スクリーン上映の入場者数4,227人、オンライン配信の視聴数4,314回、合計8,541件の視聴実績があり、合計の視聴実績はオンライン開催のみだった2020、2021年を上回った。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	SKIPシティ国際Dシネマ映画祭視聴者数			指標・目標値の説明(算定式)	前年度のミネート作品視聴者数(視聴回数)を上回る数				
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況	8,142.00		達成		8,465.00		達成		8,541.00
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位									
	目標値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	7款	1項	2目	2細目	5細々目	映画祭関連事業			
年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
予算額(A)	3,800	25,000		35,000		25,000		25,000		
決算額(B)=(C)+(D)	3,800	17,350		35,000						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	3,800		17,350		35,000		25,000		25,000
概算人件費(E)	3,555		3,871		5,775		5,135		5,135	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.45	0.00	0.49	0.00	0.75	0.00	0.65	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	7,355		21,221		40,775		30,135		30,135	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市民との必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
56 /60	3年ぶりにスクリーン上映を復活させつつ、全国から視聴可能なオンライン配信も併せておこない、昨年度の視聴数を上回ることができた。視聴結果からオンライン配信については一定のニーズがあることが分かる。今後もコロナ情勢等を見極めながら、最良の開催方法やPRができるよう模索していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施